

授業科目名	国際統計分類 I	科目コード	201037		
開講クラス	診療情報管理士科	コース	コース	学 年	3 年
担当教員	外部非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)		
	実務経験内容 病院勤務 診療情報管理士指導者 診療情報管理士の実務経験を活かし、国際疾病分類、国際統計分類ファミリー分類、国際疾病分類の利用について理解させる授業を行う				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須・選択・選択必修		単位数	1単位	
使用テキスト1	書名	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ			
	著者	一般社団法人日本病院会			
	出版社	株式会社日本病院共済会			
使用テキスト2	書名	診療情報管理士教育問題集 専門課程編			
	著者	一般社団法人日本病院会			
	出版社	株式会社日本病院共済会			
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習・実習				
<授業の目的・目標> ・わが国の人口動態統計のしくみと意義を理解し、その統計に用いられる ICD について理解を深め、その歴史と現状を理解することを目的とする					
<授業の概要・授業方針> ・ ICD について理解し、ファミリーに関するその他の分類体系について理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系について理解する					
<成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%					
<使用問題集・注意事項>					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」					

授業科目名		国際統計分類 I	
回	授業内容		備考
1	国際疾病分類論	①わが国の人口動態統計	
2		わが国の人口動態統計	
3		わが国の人口動態統計	
4	②国際疾病分類 (ICD) の歴史		
5		国際疾病分類 (ICD) の歴史	
6	③国際疾病分類 (ICD) の現状		
7		国際疾病分類 (ICD) の現状	
8	④国際疾病分類 (ICD) の構造		
9		国際疾病分類 (ICD) の構造	
10		国際疾病分類 (ICD) の構造	
11	国際統計分類ファミリー論		
12	①国際統計分類ファミリー (WHO-FIC) の概念と構想		
13	②国際統計分類ファミリーに含まれる分類		
14		国際統計分類ファミリーに含まれる分類	
15		国際統計分類ファミリーに含まれる分類	
16		国際統計分類ファミリーに含まれる分類	
17		国際統計分類ファミリーに含まれる分類	
18	国際疾病分類の利用		
19	①原死因選択ルール		
20		原死因選択ルール	
21		原死因選択ルール	
22		原死因選択ルール	
23		原死因選択ルール	
24	②主要病態のコーディングと再選択ルール		
25		主要病態のコーディングと再選択ルール	
26		主要病態のコーディングと再選択ルール	
27	③診断分類 (DPC) における国際疾病分類 (ICD) の利用		
28	④ICDを用いるうえでの注意点		
29		ICDを用いるうえでの注意点	
30	ICF分類チェック		